

◎ 広報



はさみ

62年 4月

No.290

町の人口（3月末）

- ・総人口 15,902人
- 男 7,633人
- 女 8,269人
- ・世帯数 3,945世帯
- ・転入77人・転出157人
- ・出生13人・死亡10人

町の花・ツツジ



ホットなふれあい 窯元めぐり

今年から、波佐見焼陶器まつりの新企画として登場した「中尾山・窯元めぐり」。連日天候にも恵まれて、大勢の家族づれなどで人気集中。

工場内を開放しての、温かいサービスぶりに訪れた人たちは「陶芸の里の心」を敏感にキャッチ。ホットなふれあいが、いつまでもいつまでも続いています。

大好評!! 新企画 中尾山・窯元めぐり

春の目玉、波佐見焼陶器まつりが四月一日から五日まで、やきもの公園を主会場に開催されました。

会場では、町内外の窯元や商家など約百三十店が立ち並び、県内外からの団体客や家族づれなど、約七万人の人出で大変なごわいを見せました。自慢の商品を売り込もうと、各出店では威勢のいい掛け声が飛びかかっていました。

また、今回から第一会場として「中尾山、窯元めぐり」の新企画も登場。波佐見焼発祥の地中尾の里で、窯元見学やロクロ、染曲などに盛んに挑戦する親子づれの姿があちこちで見られるなど、従来の陶器まつりに新風を吹き込んだこの試み、ソフトムードいっせいで、大変な好評ぶりでした。

今月は、本町最大のイベント「波佐見焼陶器まつり」にスポーツトを当てながら、よつりを盛り上げた、いろいろな人たちの声をキヤッチしてみました。(陶器まつり特集は七ページまで)



初日には

陶祖祭

皇太子ご成婚を記念して、昭和三十四年四月に始まった波佐見焼陶器まつり。今年で二十九回を迎えます。

毎年初日には、甲辰園の「陶祖・李祐慶」碑前で、陶祖祭が行われます。今年も午前十時から、町内窯業関係者をはじめ町並びに町議会関係者ら約四十人が集まり、陶祖の偉業をたたえとともに、波佐見焼発展を誓いました。



波佐見焼陶器まつり



(一日に行われた陶祖祭)

陶器まつり こうやって 企画・運営

陶器まつりを開催するまでには、相当の準備期間とそれにかかる経費など、さまざまな課題が直面します。

本町の陶器まつりは、町商工会が事務局となり、陶磁器関係の各組合をはじめ、県、町などの公共機関、さらに金融機関・各種団体等の協力体制のもとで、「波佐見焼陶器まつり協賛会」を組織。開催半年ぐらい前から会議を開き、まつりの開催期間、会場設営、県内外へのPR方法、さらに経費的な問題など、まつり全体に係る企画・運営面について数回にわたり検討が重ねられています。

ちなみに、昨年の陶器まつりに要した経費は、約三百五十万円。

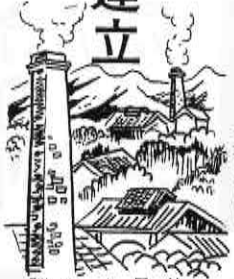
収入の主なものとしては、町、陶磁器工業組合、陶磁器元卸商業組合からの助成金として二百十万円。このほか、買外者協賛金(テナント料)百二十万円などとなっており、主な支出では、マスコミ関係の広告宣伝費、ポスター印刷費、会場設備費などとなっています。

ドーッと 7



「陶芸の里」

記念碑を建立



「ここからの眺めは、中尾全体が見渡せて、休憩場所にも最高です。これから、どんどん中尾の里に来てもらいたかです」と会員らは声を弾ませています。

新しい企画「中尾山窯元めぐり」を記念して、中尾郷製陶会(十五社)は、中尾の里を見落ろす上中尾地区(林道・虚空蔵線入口付近)に、「陶芸の里」記念碑を建立。四月一日、同製陶会員をはじめ町議会関係者ら約三十人が集って、除幕式を行いました。碑は、高さ約一・八メートル、幅二メートル。正面には、

「陶芸の里」と書かれた陶板と約十センチ角の三ノ股陶石が組み込まれ、さらに周りには、中尾の里で生まれた古陶磁から現代の製品までがびっしり張りつけられ、波佐見焼発祥の地らしさを表しています。

「中尾の里をPRするためには、何かポイントが必要」と会員らの声で建設に着手。工事に関する経費など同会で全て出費。総工費わずか約四十万円とは思えないほどの重量感をかもし出しています。



窯元めぐり

第一号は

福岡からのお客さん

窯元めぐりの第一号は、福岡市東区の主婦・塚恭子さん(左)と秋田葉子さん。陶芸の里にいらっしやったお二人に、中尾山窯元めぐり実行委員長の太田光則さんから、「ようこそ、中尾山へ」と、湯呑や焼きもの入れ用リユックサック、さ

らに陶磁器製ペンダントの三点が記念品として贈呈されました。思わぬプレゼントに、お二人はにっこり、「始めて波佐見にきました。プレゼントまで頂いて本当に嬉しい。来年も二号を狙おうかしら」と大喜び。

お二人は、「陶芸の里」記念碑の除幕式にも特別出席、花を添えていただきました。



▶今年、中尾郷では、歓迎アーチも新しくつくりかえました。

「ようこそ陶芸の里中尾山へ」裏は「ありがとうございました、またどうぞ」と書かれ、両サイドには交通安全を呼びかけています。

◀中尾郷製陶会で作られた「陶芸の里」記念碑に期間中、マスコミ関係者からも撮影した。



広報はさみ

昭和62年4月号

'87ながさき陶磁展入賞者名簿(敬称略)

賞名	作者名	作品名	住所
第1部 デザイン部門			
第1席(知事賞)	前田 英伸	ripple for coffee time	伊万里市
テーマ賞	瀬野 博己	緑軸散蘭六角皿	塩田町
第2席	藤井 信義	焼締磁器	有田町
NHK佐賀放送局賞	今泉 善雄	Bed Side Light II	有田町
中外陶報社賞	鯉江 昭前	木の葉皿	常滑市
陶業時報社賞	廣 和仁	交糸紋(皿鉢狀)	西有田町
日刊工業新聞社賞	阪本やすき	グレービー&ドレッシングポット	波佐見町
日本経済新聞社賞	淵 憲一	焼き物のパターンデザイン	有田町

第2部 工芸部門			
第1席(知事賞)	松尾 博之	白磁線文壺	有田町
第2席	立井 清人	彩土深鉢	波佐見町
朝日新聞社賞	岩永 耕一	白磁壺	波佐見町
NBC賞	大宅 利秋	静波	武雄市
KTN賞	石添 秀正	容	波佐見町
西日本新聞社賞	白水 英峰	波紋	福岡県
毎日新聞社賞	中村 澄夫	青白磁蓋物	有田町
読売新聞社賞	山口 隆	白磁花器「春華」	波佐見町

愛好家らが訪れ、素晴らしい陶芸の美と技法に堪能していました。

なお、各入賞者は別表のとおりです。



陶器まつり協賛

創造と発展

一日から五日まで陶芸の館で開かれた、'87ながさき陶磁展。陶磁器の創造と発展を目的に毎年開かれているもので今回は、県内外から百五十二人(二百四十四点)が応募し、入賞は、第一部(デザイン部門)八点、第二部(工芸部門)八点、第三部門(伝統工芸品産業部門)五点の計二十一点。

力作ぞろい!! '87ながさき陶磁展

第3部 伝統的工芸品産業部門			
伝達振興協会賞	今村 輝三	牡丹内唐子絵蓋物	三川内町
佐世市長賞	浦川 幸雄	祥瑞内山水ぐい呑(小仙茶)	波佐見町
波佐見町長賞	宮本 豊美	地紋刺山水絵高台皿	三川内町
長崎新聞社賞	田沢 大助	桔梗縁馬上杯菓子器揃	波佐見町
肥前新聞社賞	中田スミ子	染付間取六方割	波佐見町

新デザインを追求

デザインコンペティション発表展... 陶芸の館の一階では、第30回陶磁器デザインコンペティション発表展が開かれました。今回は、全国各地の一般・高校などから約280点が出品され、会場には、食器から建築材にいたるまで、実に新鮮で創造性に富む作品ばかり。新デザインを追求する同コンペの水準の高さがうかがわれました。



しっかりと品定めしましょう



入賞作品の展示コーナー



私きこ言

大成功でした 窯元めぐり



中尾山・窯元めぐり実行委員長 太田光則さん

とにかくやって良かった、大成功でした。

「中尾の里に来て、はじめて波佐見焼の良さがわかった」というお客さんの声が多かった。郷民との心が通じたと思います。

期間中お客さんは約二千人。天気にも恵まれ本当によかった。若者たち、婦人、壮年、老人とそれぞれの仕事を最後まで一丸となってやりとげたお陰です。

お客さんを対象にした「窯元めぐりアンケート」を参考に、これからも、熱い企画に取り組みたいと思います。

一本の矢に集中!!
—弓道大会—

19回目を迎えた、陶器まつり協賛「弓道大会」が、4月5日、中央小講堂で開かれました。県内外から約250人の選手が出場し、好試合を展開。

今年は、初めて県内の南高や西彼方面の中学生も参加するなど、年ごとに底辺の広がりを見せる同大会。

3人1組でチームを編成。81チームの選手たちが28メートル先の的めがけて1本の矢に集中。家族らがジーンと見守る中、会場は、弓道ならではの緊張感が終始漂っていました。主な結果は次のとおりです。

▼弓道大会の主な結果

〈学生（中学・高校）の部〉

- 団体戦** ①大村園芸高校C
②小浜高校B
③西有家中
- 個人戦** ①梶原勝也(西有家中)
②留碓充子(佐世保北高)
③森崎昌美(小浜高)

〈一般の部〉

- 団体戦** ①諫早 A
②大村 E
③波佐見 A
- 個人戦** ①本多利久(諫早)
②武田増男(波佐見)
③溝上恒夫(大村)

中学生も初参加、弓道大会



セクセン①番が
伊藤国光選手

陶器
まつり

協賛

第九回ロードレース大会
第十九回弓道大会

4月5日

▲900人が激走!!

—ロードレース大会—

第9回ロードレース大会が4月5日行われ、県内外からの小学生から一般まで約900人の選手が、春本番の波佐見路で、健脚を競いました。

この大会には、昨年の北京マラソンで2時間7分台を出した、わが国歴代2位の伊藤国光選手(カネボウ)が毎年出場。今年も、沿道の盛んな声援を受けながら、一般の部トップでゴール、素晴らしい健脚ぶりを示しました。

なお主な結果は次のとおりです。

ロードレース大会の主な結果

〈一般の部〉(10キロ)

- ①伊藤 国光(カネボウ)29'37"[†]
②三村 徹(")29'58"
③音喜多正志(")30'48"

〈高校の部〉(10キロ)

- ①伊木 孝仁(有工高)32'44"[†]
②福島雄一郎(")33'32"
③小牟田 勇(")33'49"

〈中学(男)の部〉(4.8キロ)

- ①津口 聡(西彼中)15'25"[†]
②前田 聡二(西川登)15'26"
③田川 陽春(小長中)15'40"

〈中・高一般女子の部〉(3キロ)

- ①立木 美徳(西彼中)10'21"[†]
②岳本 智子(")10'29"
③松永 智恵(伊万里)10'39"

〈小学(男)の部〉(2キロ)

- ①前田 敬樹(山代JC)5'59"[†]
②岸本 高典(深江小)6'03"
③湊川 健一(")6'04"

〈小学(女)の部〉(2キロ)

- ①亀井美由紀(森山東)6'40"[†]
②北川 由紀(調川)6'50"
③吉田けい子(森山東)6'54"

中尾山でお母さんやお姉ちゃんたちと楽画しました。花や山を書きました。手がちよつと震えちゃった。来年は大きい皿に書きたいな。



南里智恵ちゃん
(大村市)

楽画、ちよつと手がふるえちゃった

陶器まつり会場へも毎年行っています。去年は、ご飯茶わんを買いました。今年もこれから行って何か買おうと思っています。

今年で陶器まつりロードレースは五回目。来るたびに大会が盛り上がっているし、大変素晴らしい。今日は、天気が良すぎたんで、タイムはますます。



伊藤国光選手
(カネボウ)

レース後は
陶器まつりへ

広報はさみ

嬉しい地元の方々のサービス



松本 一喜さん
(諫早市)

中尾山では、四か所の窯元を回りました。生まれて初めて絵付を体験しました。一番嬉しかったのは、地元の方々のサービス。マイクログ送迎から湯茶接待、案内など素晴らしい。帰って波佐見焼をPRしますよ。

もっと目立つ案内板を



鎌田喜代乃さん
(鹿児島市)

波佐見陶器まつりは三回目。私は、古い感じのやきものが好きなんです。だから波佐見焼発祥の地、中尾山に真っ先に来たいです。でも、窯元の案内板がわかりにくい。もっと思いついて目立つような案内板を設置してほしいですね。

陶器まつり わが家の恒例



柴山芳春さん
(佐世保市)

妻が焼き物が好きなんです。波佐見の陶器まつりは、わが家の恒例です。

今年も単品で売っているとかが多かったみたい。中尾の里にも登りました。ほかの町にない、大変素晴らしい企画だと思いますよ。

中尾山から回るのいいわ



鬼塚みさ子さん
(南有馬町)

今年も、小学五年の娘もロードレース大会に参加したんです。私は陶器まつりは三回目。今年買ったのは湯呑が中心。中尾では、コップや陶製のペンダントをもらって嬉しかった。第二会場の中尾山から回るのもいいみたい。来年も近所の人たちと一緒に来ますね。



▲楽しい品定め……ちゃんわんの音があちこちで響きます。



▲おいしい波佐見茶で陶芸の里をガイドします。



▲「お疲れさまでした」とお茶とお菓子のサービスに、お客さんの心もなごみます。



▲おなじみさんは、手袋で



▲思い出になります。中尾坂……



▲すごいなー初めて見るロクロ



▲私たち佐世保から来ました。陶器まつり初めてよ。でもちょっと疲れました。

陶器まつりフォトスナツ



▶こっちは安いよ
さあー買った買った!!
(頑張れ、未来の商社マン?)

▶最終日、お客さん
とのやりとりにも
一段と熱が入って
きました。



◀ゆっくりと想いをこめながら
楽画してください。焼き上ったら
すぐにご家庭にお送りします。



▲窯元めぐりでは、生地屋さんの干し場
にも……お客さん。



トッド・サンダースさん
(長崎市)

私もロードレース
初参加したよ

▼窯元めぐりの送迎運転は中尾の若者たち。
連日の運転大変ご苦労さまでした。



▲遠くは山梨など全国170人の方々に、
陶器まつりPRとクラブ開局の記念文信。
文信証として波佐見焼の皿を送ることにしています。
(アマチュア無線クラブ)

▶試合前には、入念に!!



▲初めて見る
窯の中、
「すごい積み方
なんですわ」と
東京からのお客
さん。

波佐見ロードレース大会は
初めて。参加者が多いために
びっくり。順位は一九二番で
した。
昨年九月に長崎に来たばかり。
今、英語の教師をしています。
来年も是非参加したいです
ね。

買い方上手で
売る方も大変



山口 義明さん
(中尾)

今年は、ご飯茶わんや湯呑
が良く売れました。抽選にも
恵まれ店の場所も最高。売り
上げも去年より良かったですよ。
なによりも、天気に恵まれ
たのがよかったです。

お客さんも買い方上手で、
売る方も大変ですよ。来年も
頑張って売りたいですね。

事故のないよう
願っていました



波佐見警察官駐在所
平松 一郎さん

最終日が一番交通量は多
かった。町交通指導員や駐車
場担当の方々と連絡を取りな
がら、事故がないようにと
願っていました。五日間交通
事故がなく本当によかった。

の幸せ 集いから

実績発表大会を終えて



元旦には、郷民こぞってニツ岳登山（頂上からの眺めは最高です）

六十一年度のモデル自治公民館活動実績発表大会が、三月八日志折郷公民館で、十五日は井石郷公民館でそれぞれ開かれました。両地区とも、地域のカラーを生かした素晴らしい活動実績を発表。見学に訪れた町内各地区の代表者をはじめ町関係

志折郷

郷民・一人一役の発表会

志折郷公民館長 山口 一途さん



発表会後の反省会が、大変盛り上がりましたよ。郷民のほとんどが「自分も何かをしたぞ」という満足感でいっぱい。発表会に出演した人はもちろん、駐車場整理・会場設営・湯茶接待・早朝の公民館周辺の清掃など、子どもからお年寄まで、一人一役で発表会に

のぞんだんです。

志折郷は、八年前に結成された「八志会」を中心に、環境美化運動に力を入れたのはじめ、元旦のニツ岳へのふれあい登山、子ども・青壮年・老人の世代を結ぶ「ふれあいゲートボール大会」など、世代交流を基本に各活動に取り組みました。

活動の中では、常にビデオ収録に努め、その一部を発表会にも披露しました。

活動実績の面では、まだまだ不十分などところもありまし

「世代交流」

「ふれあいゲートボール大会」



た。企画運営から予算的問題など活動をすればするほど、さまざまな課題が直面します。そういう中で一番得たことは、郷民の心の一致であり

ます。いろんな語り合いを通じて、心と心がふれあい、発表会に向けて、次第に盛り上ってきたのを身を持って感じました。

恵まれた自然と風土、そして素晴らしい歴史のある志折郷。この発表会を土台として、今後も郷民の方々と知恵を出し合いながら、さらに公民館活動を充実させていきたいと思えます。



発表会当日も

元氣いっぱいにあいさつ

背筋をピンと伸ばして
謡曲クラブの発表



手旗信号で心が一致
(発表会でも披露しました)



舞踊もバッチリ

みんな 公民館の

モデル自治公民館活動

者ら約二百人は、最後まで盛んな拍手を送っていました。

今日は、志折・井石の発表会の一部を写真で紹介するとともに、発表までの苦労話などを両地区の公民館長に伺ってみました。



▶もちつき大会
（青年と子どもたちとの交流）



▲なごやかに着付教室



▲みんなで一斉清掃



郷民こぞって体力アップ

井石郷

本番はこれからですよ

井石郷公民館長

森 正秋さん



井石郷がまず取り組んだのが組織づくりとアンケート。いろんな活動をする上で、実践的な組織づくりが最も重要。従来からあるクラブを生かしながら、新しいクラブ（民謡など）を発足させるなど、公民館活動全体のバランスづくり

がポイントではないかと思う。アンケートでは、郷内全世帯を対象に実施。「井石郷として、今後どのような活動に力を入れるべきか？」という質問に、最も関心があったのが「環境整備」「健康づくり」「生活改善」などであった。

この三点を主な努力目標として諸活動に取り組んできた。さらに、井石（㊦㊧㊨）の三文字を頭に置き、標語を募集。その結果

㊦—生活改善
部 落 を あ げ て
㊧—きれいな郷土
村 お こ し

この標語は、郷民の生活、文化の意識を高めるとともに未来の井石郷発展の目安となるものである。

今回の発表会は、今まで眠っていた郷民の意識が目ざめ、公民館活動に対する理解と協力体制という意味で、絶好の機会であった。

この熱を冷さないためにも、今後も、郷民の方々の意向、希望、アイデアなどを出し合いながら、諸行事に取り組んでいきたいと思う。

これからが、本番ですよ！！

食生活改善で健康増進



波佐見節で華やかにフィナーレ

みんなのひろば

県朝日農業賞に輝く

利用組合 田ノ頭上共同農業機械

共同作業などで大きな実績を上げた営農集団に贈られる今年度の県朝日農業賞に、このほど田ノ頭郷の稲作農家十一戸で作っている「田ノ頭上（たのかしら）かみ」共同農業機械利用組合が見事選ばれました。育苗からもみす



「次は日本一だ」と意欲を燃やす田ノ頭上利用組合員たち

（写真提供・朝日新聞社）

りまでの機械化一貫栽培体系を作りあげ、単位面積当たりの労働時間を四割近くまで引き下げるなど、生産性の高い稲作を実現した功績が高く評価されたものです。同組合は、ほ場整備で農機具を導入しやすかったのをきっかけに、兼業農家の作業を請け負って低コストの稲作を実現しようと四十六年八月に結成。一昨年、新しくライスセンターを建設するなど、順調に取扱量も増えており、メ

元氣いっぱいの子どもに
——赤ちゃんの遊び日——

とどろき保育園

「親と子のふれあいを深め、活発な子どもに育てよう」と、とどろき保育園では、毎月「赤ちゃんの遊び日」を設けています。

三月九日に集まったのは、二・三歳までの幼児とお母さんたち約二十人。

遊具を通して、ふれあう親子の顔は、幸せいっぱい。赤ちゃん同志の小さなふれあいの芽が生まれ、膨らみます。

「毎月のように来ています。」



▲ラブコール最盛期!!

「めったに、キジの雄・雌一緒に撮れんとばい」と写真提供の江口末男さん（折敷瀬郷）。3月22日早朝、金屋郷のあるところで撮影に成功（800ミリ望遠レンズ）。右が雄、左が雌、今がラブコールの最盛期とか。

4月下旬頃から可愛いヒナが続々と誕生するそうです。

ナンバーは「全国一の営農集団を目指し、頑張っていきたい」

と益々意欲を燃やしています。



来るたびに、子どもの顔がいきいきして、この日を楽しみにしているんですよ」と松下香さん（協和郷）。同園では、参加したお母さん方の感想などを掲載した「あかちゃん、こんにちわ」だよりを発行しながら、今後ともふれあいの輪を広げようと計画しているところです。「赤ちゃんの遊び日」に関するお問い合わせは、とどろき保育園（☎八五―三五六六番）へお願いします。

やったせ青年団

全国大会ダブル賞

機関紙 優秀賞

ボダー 努力賞

波佐見町青年団（百二十八人）の機関紙「波佐見を知る」がこのほど、日本青年団連絡協議会主催の第十九回全国青年団教宣コンクール「機関紙の部」で見事優秀賞に輝きました。また、昨年の文化祭で披露した演劇ポスターとTシャツが「ポスター・チラシ・教宣用具の部」で努力賞に入り、全国大会ダブル受賞に団員や関係者は大喜び。

「波佐見を知る」は、町の歴史を中心にまとめており、波佐見焼の由来や畑ノ原栗跡血山人形浄瑠璃など名所旧跡を写真などで紹介し、さらに「波佐見に架かる橋」として町道などに架かるコンクリート橋から石橋群までを、幅員架設年、河川名などを調べて一覧表にしています。

四月に新任長に就任した長島辰己さん（野太川）は、「全団員の協力があつてこそその受賞だと思ふ。今後も、地域に密着した機関紙づくりと教宣活動に頑張っていきたい」と受賞の喜びを語っています。

稗木場二年連続V

第十九回町民バスケットボール大会

第十九回町民バスケットボール大会が、三月三日から十日まで勤労者体育センターで開催され、稗木場チームが見事二年連続十一回目の優勝を飾りました。

町内の地区、職場などから十六チームが参加、連日白熱した試合が展開されました。

決勝は、昨年と同じ稗木場と重山陶器の対戦。前半から激しい攻防と展開、その結果

47対45と1ゴール差で稗木場が二連覇を達成したものです。〈今大会の主な結果〉

優勝 稗木場
準優勝 重山陶器
三位 なかよし
三位 コスモス

波中ソフト部

第一回全日本中学校ソフトボール大会

善戦及ばず
初戦敗退

第一回全日本中学校選抜ソフトボール大会が三月二十九日から三十一日まで、福岡県大牟田市で開催されました。本県代表として波佐見中と横尾中（長崎市）が出場。

わが波佐見中は、一回戦八代四中（熊本県）と対戦し、善戦及ばず1対10で敗れました。試合前練習で、主力メンバー二人が負傷するというアクシデントが起きるなど、万全の体制ではなかったのは残念。しかし、「負傷選手の分まで戦おう」と残った部員たちの最後まで試合を捨てないプ



二連覇を達成した稗木場チーム

しみない拍手が送られました。波佐見中ソフトボール部の今後の活躍を期待します。



「ご声援ありがとうございます。これからも頑張ります。」
波中ソフト部

▼宿コミュニティセンター完成

宿コミュニティセンターが完成し、3月29日落成式が行われました。

総工費約3,500万円。面積約411平方メートル。県新活力まちづくり推進事業の適用を受けて、昨年10月から着工していたものです。

新しい集会所の完成で、今後、同地域の活発なふれあい運動が繰り広げられることでしょう。

(宿コミュニティセンター)



スポーツ講演会

「不可能への挑戦」

国見高サッカー部

小嶺 忠敏監督



「不可能への挑戦」——県立国見高校サッカー部・小嶺忠敏監督の講演会が3月7日、農村環境改善センターで開かれました。

「スポーツをやるからには、勝たねばならない。」勝利を目標にしたチームづくりに必要なのは、まず指導者が選手の人格、性格を素早く見抜くこと。その根本となるのが指導者が子供の本当の性格を知ろうという「意欲」と「情熱」である。

普段の生活、たくさんの練習試合の中から、個人の特技を見出し、徹底して生かすこと。そして、本人の性格に合ったポジションを決める。

勝つためのポイントは、

1. 人一倍考え、行動する。
2. 自己犠牲心で生きれ。
3. 指導者は言い訳をするな。

常に挑戦する心（求める心）が必要。命をかけてVを求めること。

目標・前進・意欲だ！！

会場に集まった、町内の各種スポーツクラブの指導者や選手ら約200人は、同氏の熱演に最後まで熱心にメモを取っていました。

山下収入役を再任



山下鐵夫収入役

三月に開かれた、六十二年第一回町議会定例会で、現収入役の山下鐵夫さん(61歳)が再任されました。任期は、六十二年四月一日から六十六年三月三十一日までの四年間です。山下さんは、五十四年四月に収入役に就任され、今度で三期目となります。

十四人が異動

町職員人事

町職員の人事異動が、四月一日付で発令されました。今回は、次のとおり十四人が異動しました。()は前

- 税務課参事補 (税務課参事 補兼町民税係長) 松尾ミチ子
- 商工企画課商工係長 (水道課業務係長) 岳本英毅、税務課 固定資産税係長 (税務課地籍係長) 山口康之、水道課業務 係長 (商工企画課商工係長) 山下徹、住民福祉課児童福祉 係長 (選挙管理委員会主任書 記兼総務課主査) 石部修
- 税務課町民税係長 (税務課 固定資産税係長) 石峰実、選 挙管理委員会主任書記兼総務 課主査 (住民福祉課主査) 浦

野敬士

〈町立保育所関係〉

- 保育 鴻ノ巣保育所 (中尾 保育所) 久野由貴子、中尾保 育所 (皿山保育所) 馬場久美 子、皿山保育所 (鴻ノ巣保育 所) 溝口康子、皿山保育所 (鴻 ノ巣保育所) 岡村真由美
- 調理師 中尾保育所 (鴻ノ 巣保育所) 深沢史子、皿山保 育所 (中尾保育所) 岩永彰子、 鴻ノ巣保育所 (皿山保育所) 尾崎カチ



緑を守り 伝えよう



新町30周年「記念植樹会」

新町三十周年記念の最後の事業として三月二十二日鴻ノ巣公園で記念植樹会が開催されました。

都市公園整備事業の一環として開園した「記念の森」で開かれたもので、午前十時からのもので、緑の少年団員二人が「緑を大切にしよう」と作文発表。引き続き、兒玉町長、福田前町長ら四人による記念碑を除幕。さらに六十年成人者(二四〇人)から寄贈された、ノムラ・ヤマモミジ三本を成人者代表らで植樹。

最後に、記念植樹会に申し込まれた五十一組、約百人が、春に紅葉するノムラモミジ、秋に紅葉するヤマモミジを「立派に育つて」と、一本一本でいいねいに植え込みました。

記念樹横には、入学、金婚、結婚、新築、大会出場など記念名と植樹者名が、それぞれ書かれた陶板製のプレートも設置されています。

参加者の一人、福田利広さん(長野)は「昨年十二月に誕生した長男泰祐の記

念にと申し込んだんです。子どもの成長と同じ、この木もすくすくと育ってほしい。時々、丈夫に育っているか家族で見に来ますよ」と笑顔で話してくれました。やわらかい日差しを浴びながら、「緑を大切に守り伝えよう」という芽が、春風そよぐ鴻ノ巣の森に漂っていました。

目玉はジャンボ鯉のぼりと 高校野球招待試合

5月3日

(波佐見ライオンズクラブ主催)

——青空天国子どものついで——

◇農村環境改善センター(9:30~)

今年は、ジャンボ鯉のぼりや幼稚園児たちが作ったミニ鯉のぼり約1,500が青空いっぱい泳ぎます。また、高校野球招待試合が12時30分から、鴻ノ巣グラウンドで行われます。

対戦チームは、熊本県の強豪・済々賞高と本県の佐世保工高とわが波佐見高の3チーム。ご家族ずれで是非ご覧ください。

三月二十二日に開かれた記念植樹会





私たちの願いは、何といつても健康です。このコーナーでは、東彼医師会の皆さんから、病氣やけがに関する心がけや応急措置などについて、ご意見をお寄せいただき、みなさんと一緒に健康について考えてみたいと思います。

慢性気管支炎

東彼医師会 山川 侃すなお (東彼杵町)



慢性気管支炎は、気管支からの分泌物、すなわち、痰が多くなる病気で、咳が出て、さらには呼吸困難を伴い、しかも長い間続きます。

これらの症状が、一年間に少なくとも三か月以上あり、しかも、この症状が二年以上見られる場合を慢性気管支炎といえます。

多くの肺疾患(肺結核・膿瘍など)や気管支疾患(ガン・拡張変など)、又、心疾患によっても同じ病状が見られます。症状は一般に、咳と痰は必

に変わった症状はありません。多くは、冬期であります。一年中出るのも三分の一ぐらあります。

咳は、多くは湿性であり、痰は粘液性又は膿性の場合が多い。呼吸困難な時には、喘鳴を伴うことがあるが、作性ではありません。又、畜膿症の合併が半数近く見られることが注目されます。

予防するには

一、煙草をやめる
煙草は、感染に対する抵抗力を著しく弱めます。煙草を続ける限り、この病気の進行を防ぐことは出来ない。

二、気管の刺激を避けること
刺激性ガスやほこりの多い

煤煙などの多い地域での居住は望ましくない。
三、寒冷や乾燥を避ける。
大気が乾くと、痰の切れを悪くし、冷たい空気の吸入は、気道を狭くする。

四、感染の予防と早期治療
風邪をひかないように注意する(秋にはインフルエンザの予防注射を受ける)
五、食事、肥満の注意
肥ってくると正常の人より酸素消費量が多く、呼吸運動に使うエネルギーの消費も大きくなる。



▲食生活改善推進員養成講座閉講式

六十一年度の食生活改善推進員養成講座閉講式が三月八日、農村環境改善センターで開かれました。会場には、今年度の推進員五十九人をはじめ、各郷総代町関係者ら約百五十人が出席。推進員の代表者が一年間の活動成果を発表したあと、記念講演として、熊本県菊池養園診療所長竹熊直孝氏の「土からの医療」と題する講演に会場では、熱心にメモを取る姿が見られました。

ただ今、食生活推進員 154人

一九八七年は健康管理時代といわれます。生活面、食事面、運動面、医療面を四本の柱として、「自分の健康は自分で守り」いきいきとした人生を過ごすことは、皆がのぞむところ。しかし最近健康に関する本が山ほど出版され、ダイエットさえ行えば健康であると思われようなタイトルのものが沢山ありますが、私たちは、もう一度、自分の四本の柱を、しっかりと見なおしたいと思えます。そのお手伝いをする一つに食生活改善推進員さんがいらっしゃいます。五十九年度にスタートした、この推進員制度。今年度一五四人が誕生し、これまでいろいろなかたちで地区活動をしていただいております。個人の健康問題を地域の問題として、一人でも多く参加していただき健康の輪を広げていきましょう。

ひろば

の方は役場
ご連絡ください。

福祉医療費

自己負担額 4月1日から改正

四月一日以降の診療に係る医療費から、次の表のとおり自己負担額が変わります。

今日、人口の高齢化、医学・医療技術の進歩などに伴い医療費が増加している現状です。このような状況に対応した福祉措置として、町福祉医療費補助金制度の長期的安定を図るため、見直しが必要となり、今年一月施行された老人保健法の一部改正に準じ、改正したものです。

なお、詳しいことは、役場住民福祉課福祉係におたずね

ください。

給付対象			自己負担額	
			現行	改正(案)
乳児	入院 通院	保険医療機関ごとに、 月 500円 但し、入院は2か月 を限度とする。	保険医療機関ごとに、 月 800円 (限度なし)	
				母子家庭
	子	入院		
寡婦	入院	2か月を限度として、 1日 300円	1日 400円 (限度なし)	
身体障害者 手帳 1, 2級	70歳未満 但し、老人保健 法適用者を除く	入院 通院	保険医療機関ごとに、 月 500円 但し、入院は2か月 を限度とする。	
				療育手帳 A1, A2
身体障害者 手帳 3級	70歳未満 但し、老人保健 法適用者を除く	入院 通院	保険医療機関ごとに、 月(一部負担金-500 円)× $\frac{1}{2}$ +500円 但し、入院の500円 控除は2か月を限度 とする。	
				療育手帳 B1
療育手帳 B2	幼児	入院 通院	保険医療機関ごとに、 月(一部負担金-500 円)× $\frac{1}{2}$ +500円 但し、入院の500円 控除は2か月を限度 とする。	
			保険医療機関ごとに、 月(一部負担金-800 円)× $\frac{1}{2}$ +800円 (限度なし)	

宿泊費助成

が廃止

国保指定 保養所制度

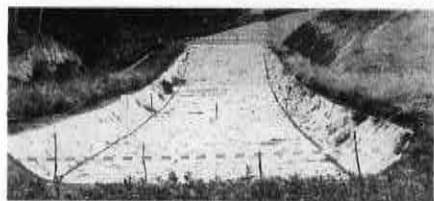
国民健康保険の宿泊費助成制度が廃止されます。

国民健康保険では、国保連合会の事業として、被保険者の方の保養を通じた健康づくりを進める目的で、国民健康保険指定保養所制度を設け、

これらの施設を利用して宿泊をされた時は、一泊五〇〇円の助成を行ってまいりました。しかし、昨今の国民健康保険をめぐる環境は大変厳しいものとなり、この助成を続けてゆくことが出来なくなりました。

そこで、本年五月末日をもってこの助成制度が廃止されることになりましたのでお知らせします。

長い間のご協力ありがとうございました。



鴻ノ巣公園 ロンスキー場がオープン

鴻の巣公園内の野外遊具そばに完成していたロンスキー場が、いよいよ4月29日より供用開始となります。

ロンスキー場は幅10メートル、長さ40メートルで傾斜面にはソリのすべりをよくするため、プラスチックノブが敷詰められています。

供用日は、土、日、祝日で使用料は1時間300円です。また、備え付けのソリ以外ではすべれません。

事由	届出の種類	種別の変更等
サラリーマンの奥さんで、また国民年金の加入届をしていない人	資格取得届	未加入 第3号被保険者
自営業の夫が会社や役所に就職したとき	種別変更届	第1号被保険者 第3号被保険者
結婚退職(サラリーマンの奥さんになったとき)、共働きでなくなったとき	種別変更届	第2号被保険者 第3号被保険者
夫が退職・本人の収入が増加・離婚等	種別変更届	第3号被保険者 第1号被保険者
本人が会社や役所等に就職したとき	種別変更届	第3号被保険者 第2号被保険者
夫の転職・会社が変わったとき ・ 共済組合が変わったとき	種別確認届	第3号被保険者 第3号被保険者

年金に関するお問い合わせは
役場住民福祉課年金係まで



みんなときには届出を (国民年金)

お知らせ

掲載ご希望
企画係まで

巡回自動車 文庫のお知らせ

県立図書館では、県内各地で巡回自動車文庫を開いています。五月十四日(木)は、波佐見町公民館で行われます。時間は午後一時三〇分から午後三時です。みなさんのご来場をお待ちしています。

自動車税の納付は、 六月一日までに

昭和六二年度分の自動車税納税通知書を五月初旬にお送りいたします。お近くの銀行、農業協同組合、漁業協同組合、郵便局などの窓口でお忘れなく納期限内に納めてください。

納付が遅れますと延滞金が増算されて、余分な負担がかかります。

住所が変わったために、納税通知書が届かない場合があります。

五月十日を過ぎても、お手許に納税通知書が届かない場合は、ぜひ自動車税事務所(電話〇九五八一―二一八八三五)にご連絡ください。

計量器の定期検査

「はかり(計量器)」の定期検査が次のとおり実施されます。

- れなく受検してください。
- 〇五月七日(木)町勤労福祉会館 10時～12時・13時～15時
- 〇五月八日(金)町農村環境改善



東彼杵郡 硬式テニス 選手権大会

主催 郡テニス協会

期 日 五月二十四日(日)

五月三十一日(日)

六月七日 (日)

種 場 所 東彼杵町テニスコート

種 目 一般男子単・複

一般女子単・複

壮年男子単・複

参加費 単(シングルス) 一、〇〇〇円

複(ダブルス) 二、〇〇〇円

参加申込み(締切日) 五月十一日

申込み先 乙長野郷・福重久弥さん(八五―二〇一六番)まで

波佐見町 緑の少年団

波佐見町緑の少年団では次により団員を募集します。

対象 小学校三年から六年までの男女

団費 年間二、四〇〇円

奨学生募集

次のとおり県および町の奨学生を募集します

	波佐見町奨学資金	長崎県育英会奨学資金
志願資格	<ul style="list-style-type: none"> 〇町内に住所がある人の子弟 〇学資の支弁が困難であると認められる人 〇他の団体から貸付を受けない人 〇高校(全日制) 〇大学(短大は含み、大学院は除く) 	<ul style="list-style-type: none"> 〇県内に住所があり、一年以上居住している者の子弟 〇学資の支弁が困難であると認められる人 〇大学(短大・大学院・専修学校は除く)
貸付金額(月額)	<ul style="list-style-type: none"> 〇高校 7,000円 〇大学 10,000円 	<ul style="list-style-type: none"> 〇国・公立 15,000円 〇私立 20,000円
募集期限	5月30日(土)	5月9日(土)
申込先	波佐見町教育委員会管理課(役場内)	

お わ び

健康カレンダー

来年三月(波佐見神社)の写真提供は「植田初己」さん町では、六十二年度版「健康カレンダー」を先般、町内各世帯に配布しました。

その中で、来年三月(波佐見神社)の写真提供者は、「江口末男」さんとなっておりますが、「植田初己」さんの誤りでした。

ここに訂正するとともに、植田さん並びに江口さんに対し、深くお詫びを申しあげます。



来月の納金

- 国民年金保険料
- 国民健康保険料
- 水道使用料
- 軽自動車税

善意の窓

- 香典返しにかえて
- 皿山郷 浜田 勝之様
- 御尊父故浜田舜次様
- 折敷瀬郷 岩永 勝様
- 御夫人故岩永咲子様
- 乙長野郷 前田 昭英様
- 御母堂故前田サキ様
- 鬼木郷 原田 勝行様
- 御尊父故原田達美様
- 鬼木郷 岩崎 政由様

行政相談委員



久保田芬さんを再任

町の行政相談委員に、野々川郷の久保田芬さん（60歳）が四月一日付で再

任されました。任期は、六十四年三月三十一日までの二年間です。

久保田さんは、六十年四月に総務庁長官（当時）行政管理局長官）から委嘱され、今度二期目となります。行政相談とは、役場の仕事について

一、テキパキやってもらえない

- 御夫人故岩崎クミ様
- 野々川郷 片山 誠吾様
- 御祖母故片山ミト様
- 皿山郷 本石 勝春様
- 御母堂故本石タケ様
- 金屋郷 貝原八重子様
- 御主人故貝原和夫様
- 志折郷 谷本マエ様
- 御主人故谷本國入様
- 湯無田郷 平野 国雄様
- 御尊父故平野倉夫様
- 碑木場郷 林田 信雪様
- 御尊父故林田福松様
- 宿郷 谷口 芳子様
- 御尊父故谷口徳男様
- 湯無田郷 寺崎堅太郎様
- 御母堂故寺崎リツ様
- 金一封
- パーガーションョップ
- スノーピー 立石 守様

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

お誕生おめでとう

それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。
波佐見町社会福祉協議会

子の名	親の名	住所
松尾 美里	一良	三股郷
横石 亮	壽紀	永尾郷
長岡 孝昌	保	小樽郷
川野 友華	千歳	湯無田郷
酒井 博幸	敏夫	折敷瀬郷
藤川 大樹	義樹	折敷瀬郷
中尾 修也	佳吾	宿郷
森田 高志	勝次	宿郷
古川 竜摩	三紀夫	宿郷
前田 哲也	正信	村木郷
朝長由香梨	義之	村木郷
藤本 達也	智徳	皿山郷
楠本 健吾	寛	乙長野郷

ご結婚おめでとう

井村 充夫	勝本町
大石 京子	中尾郷
河野 勝行	三股郷
森山 邦子	鬼木郷
平川 一義	熊本市
川島 純子	永尾郷
豊田 謙	湯無田郷
荒木 珠子	川棚町
寺川 大雅	広島県
松岡 敬子	金屋郷
林田 文男	折敷瀬郷
富川さつき	折敷瀬郷
岩永 清己	折敷瀬郷
山下のぶ子	志折郷
橋口 敬	折敷瀬郷
内海 秀子	佐世保市
田崎 敏	折敷瀬郷
天川ミツ子	川棚町
内藤 盛文	佐世保市
浦田なをみ	折敷瀬郷
池田 陽一	宿郷
山崎真理子	川棚町
安田 智明	村木郷
廣瀬 朱美	村木郷
永田 義和	村木郷
本山 人美	東彼杵町
武村 俊春	田ノ頭郷
兒玉つや子	井石郷
宗方 憲一	川棚町
山脇智恵子	岳辺田郷
藤寄 裕之	平野郷
山田 孝子	村木郷

おくやみ申し上げます

田崎 代市	野々川郷	86歳
本川 スヤ	野々川郷	83歳
高崎 芳旭	湯無田郷	0歳
兒玉フミカ	井石郷	47歳
松田 直一	鬼木郷	74歳
入江 敬勝	金屋郷	81歳
林 大将	村木郷	0歳
濱田 朋美	皿山郷	14歳
奎尾 忠光	川内郷	86歳
本山 寛之	乙長野郷	54歳

編集室

第二十九回波佐見焼陶器まつりは、大成功のうちに幕を閉じた。とりわけ、新しい企画「中尾山・窯元めぐり」に改めて大きな拍手を送りたい。若者たちの案内板作製から期間中のマイクロバスでのピストン運転。婦人たちの三か所での湯茶接待。老人たちの案内係と、老若男女地区民一丸となった奔走ぶりを見て、心底熱いものを覚えた。中尾の人々は、ほとんどが陶芸の道で生き抜いて来た。そして、これからの道の道ひとすじに、と情熱を燃やしている。

「陶芸の里」記念碑の横で、「今第一歩を踏み出したばかり。これからが大事なことです。これからの道を歩むに、老人の力が耳にやきついている。」

宮川